



「自分こそが、この地域に住む人たちの健康を守るんだ」という情熱が「公衆衛生マインド」。臨床医では経験できない保健所長の醍醐味を知ろう。

内田勝彦 Katsuhiko Uchida

大分県福祉保健部審議監（保健担当）
前・全国保健所長会会長

略歴：1985年自治医科大学医学部卒業。外科臨床を経て1996年から行政（大分県）に入り、2000年から保健所長（中津保健所）、県健康対策課長などを務め、2016年から大分県東部保健所長、2020年に全国保健所長会会長に就任。2024年より現所属。



現場で培った臨床の視点も公衆衛生分野では非常に重要。行政医として臨床医と協力し対策を考え、コロナ禍を乗り越えた経験も踏まえ、臨床と行政の懸け橋になれるような公衆衛生医師像を一緒に考えましょう。

服部早苗 Sanae Hattori

茨城県筑西保健所

略歴：2008年筑波大学医学専門学群卒業。産婦人科医として臨床に携わり、日常の診療の中で公衆衛生的なアプローチの必要性に気づき、意を決して、2020年9月に茨城県庁に入庁。県庁ではコロナ対策チームに従事し、2024年4月より現所属。



行政に入るタイミングは？ワークライフバランスって、どんな感じ？専門医や学位はどうする？行政2年目の私が、「入庁前に聞いておきたかったこと」を掘り下げます！

兼任千恵 Chie Kaneto

神奈川県平塚保健福祉事務所

略歴：大学院で公衆衛生を学んだあと医学部を再受験し、2020年徳島大学医学部卒業。初期臨床研修を経て2023年から行政（神奈川県）に入り、以降、現所属。



耳ざわりの良い言葉でごまかそうだったってそうはいかない。「1億2千万人の命」とはどういうものか、皆さんは分かっていますか？本当に「命を衛る」ためにどうすればよいか若手パワー！で考えました。

石倉 凱 Gai Ishikura

島根県健康福祉部

略歴：2017年鳥取大学医学部卒業。初期臨床研修後、大学病院で3年間の麻酔科医生活を経て2022年に島根県へ入職。保健所でのコロナ対応を経験後、2024年より現所属。

SPECIALISTS

講師紹介 1

公衆衛生 若手医師・医学生 サマーセミナー

都市センターホテル 601会議室

AUG 17-18 2024

公衆衛生医師を知らない人も。

公衆衛生医師を希望する人も。

公衆衛生医師を極めたい人も。

誰もが夢中になる、2日間。

公衆衛生医師は医師数全体のわずか0.5%、全国的に不足している医師職の一つです。行政機関を拠点とし、社会全体の健康と安全を守るため、政策立案からネットワークづくりまで、幅広い活動を行なっています。

7人の講師のセッションは、あなたに、公衆衛生医師という果てしない

魅力と、高まり続ける必要性を、余すところなく伝えます。

また、全国の参加者とのグループワークを通じて、それまで知りあうこともなかった、同じ思いの仲間と出会い、あなたの未来を開くための大切なつながりを、ここで得ることができます。

さらに特別企画では、現在活躍中の公衆衛生医師との情報交換ができます。具体的な仕事内容、キャリア形成、家庭との両立、専門医の取得方法、給与、生きがい、趣味活動など、あなたの知りたい公衆衛生医師の全てが、わかります。

公衆衛生 若手医師・医学生 サマーセミナー

都市センターホテル 601会議室

AUG 17-18
2024

SPECIALISTS
講師紹介 2



4年間のコロナ本部経験から、我々が直面する健康危機管理における行政医師の役割、その大きな充実感について熱く語り、皆様を公衆衛生の奥地へ誘います。

松澤 知 Tomo Matsuzawa 新潟県福祉保健部

略歴：2017年近畿大学医学部卒業。初期臨床研修を経て2019年から行政（新潟県）に入り、2020年から新型コロナウイルス感染症に係る県医療調整本部員などを務め、2023年より現所属。



自分がやりたいことだけをするのではなく、予期せず与えられた機会や仕事を面白がって取り組むことが、日々どこかに行かなくてもできる“研修”です。

北岡政美 Masami Kitaoka 金沢市保健所

略歴：2008年金沢大学医学部卒業。2016年金沢大学大学院医学系研究科(環境生態学・公衆衛生学)修了。同年、金沢市入職。保健所勤務を経て、2023年より国立感染症研究所実地疫学専門家養成コース(FETP)にて研修中。



認知症の人の思考回路はどうなっているの？何に悩み、何に傷つき、どんな言葉に救われるの？
認知症の母を観察し、父の神対応に感動した、ひとりの娘としての立場からお話しします。

信友直子 Naoko Nobutomo 映画監督・ノンフィクション作家

略歴：1961年広島県生まれ。東京大学文学部卒業。フジテレビを中心にドキュメンタリー番組を100本以上制作。2018年、認知症の母と老老介護する父を娘の視点で描いた映画「ぼけますから、よろしくお願ひします。」で映画監督デビュー。全国で20万人以上を動員する大ヒットに。続編映画や関連書籍も展開中。



今年是一日目で公衆衛生医師業務の幅広さを、二日目で奥深さを知っていただきます。その幅広く奥深い業務の根底に共通して流れる公衆衛生マインドを感じれば、あなたもこの仕事にきっと夢中になります。

田邊 裕 Hiroshi Tanabe 名古屋市西区保健福祉センター

略歴：2007年名古屋大学医学部卒業。外科臨床を経て2019年に名古屋市保健所入職。2022年4月から現所属。社会医学系専門医。